



1928年から1938年の間に松竹京都（下加茂）撮影所で制作された

映画の劇場内用手描きポスターを展示

手描き映画ポスターと 看板の世界

2018年9月18日(火)～9月28日(金)

立命館大学アート・リサーチセンター 閲覧室

入場無料

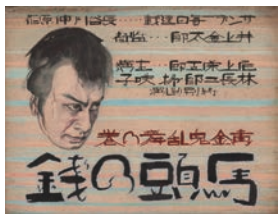
開館時間／午前10時～午後5時 休館日／土・日・祝日

主催／研究拠点形成支援プログラム「京都ストリート文化アーカイブの構築と発信プロジェクト」、立命館大学アート・リサーチセンター



手描き映画ポスターと 看板の世界

映画がサイレントからトーキーに移る昭和のはじめごろ、京都の町中の映画館では劇場内に上映中や
予告宣伝用に手描きのポスターが飾られていました。当時は殆ど毎週のように映画が封切られており
ましたので、そのポスターの数も相当なものだったと想像できます。今回はその中から松竹座、京都座
など松竹系の映画館用に描かれたポスターの内、松竹加茂撮影所で制作された作品のポスターを展
示いたします。描いたのは当時から歌舞伎で有名な京都南座のまねき看板を手掛けていた竹田耕清
(猪八郎)。映画に合わせて構図やタッチ、書体などを駆使して描かれた手描き映画ポスターの世界を
お楽しみください。



今回展示いたしますのは京都の映画看板製作所「タケマツ画房」が所有していた手描きポスターで、
1928年から1942年頃までに京都の中心街にあった松竹系の劇場に飾られていたものです。当時はほ
かの映画館でも同様のポスターが飾られていたと思われますが、現在現物を確認できるのはこれらの
ポスターのみとなっており、当時の映画館の雰囲気を知る上で非常に貴重な資料だと言えます。所蔵
枚数は約800枚ほどで、全て松竹系の劇場にかかっていた作品です。今回は初めての展示として、「松
竹京都撮影所(元下加茂撮影所)」で制作された作品の手描きポスターを展示いたします。それらの
ポスターからは林長二郎、月形龍之介、高田浩吉など京都撮影所が生んだ大スターたちが驚くほどた
くさんの作品に出演していたことがわかります。

主 催：研究拠点形成支援プログラム「京都ストリート文化アーカイブの
構築と発信プロジェクト」

立命館大学アート・リサーチセンター

開催期間：2018年9月18日(火)～2018年9月28日(金)

※土曜・日曜・祝日は休館

開催場所：立命館大学衣笠キャンパス内 アート・リサーチセンター

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

開館時間：午前10時～午後5時

料 金：無料

お問い合わせ：075-466-3411 (立命館大学アート・リサーチセンター)

